



第9回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

岩国・柳井地域版

R5.11.13 開催



高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心と高めてもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

議長開会宣言



開会宣言する
柳居議長

高校生議員の自己紹介



本会議場で挨拶
をしました。

【岩国・柳井地域の高校生議員の皆さん】

(周防大島高等学校)

林万智さん 満長咲稀さん

(岩国商業高等学校)

竹田雀力君 嶋原琉晟君

(熊毛南高等学校)

岡村和一郎君 林友樹菜さん

(高水高等学校)

天野琥珀君 藤田寧々さん 栢真君

高校生議員からの質問及び執行部答弁

若者向けの店舗や商業施設といった若者が集う町づくりや空き店舗の対策等、現時点での計画や新たな取組はありますか、お伺いします。

また、空き店舗に若者向けの店舗や商業施設を作りたいことを提案するが、この提案の実現性、提案に対する改善案や意見があればお聞きしたいと思います。



質問に立つ
竹田議員



答弁する
村岡知事

活性化策の支援として、今年度から新たに、県内の商業エリアにおいて、AIカメラやデジタルスタンプ、SNSやウェブ等を活用し、人の流れや消費動向、興味・関心等のデータを取得・分析する、いわゆるデータマーケティングの手法を用いて、にぎわいの創出を図る取組を進めています。

商業エリアの活性化に向けては、県が山口市の中心商店街に設置しているやまぐち創業応援スペース「mirai365」をはじめ、県内各地の創業応援施設や商工会議所等の商工団体において、創業を希望する方への相談対応や、創業セミナー等の開催によるビジネスプランの策定等について、サポートを行うほか、店舗の開業等に必要経費の一部を補助する制度等により、資金面からの支援も行うことで、創業の促進を図っており、これまで、にぎわい創出を目指したボードゲーム店やアニメなどの声優教室、県外からの移住者によるカフェなどが、空き店舗を活用して創業しています。

皆さんも地元の店舗や商店街等に足を運んでもらって、取組を応援していただきたいと思いますし、若者が集まるためのさらなるアイデアや取組を、若い感性を活かして考えて、行動に移していただきたいと思います。

竹田議員（岩国商業高）と林議員（熊毛南高）が、
岩国・柳井地域を代表して質問をしました！

県内の水道代は、下松市と周防大島町とでは3倍以上の差があり、弥栄ダムから水を引く上関町、田布施・平生水道企業団、周防大島町、柳井市は、他地域と比べても高価である。水道事業は、原則市町村が担うこととなっているが、各市町の経営では限界があることから、県が主導で事業の改善を図ることはできないでしょうか。



質問に立つ
林議員

県では、柳井地域に対し、県内の料金格差の拡大を抑えることを目的とした補助制度による支援を行うとともに、施設建設費を返済する経費の一部についても補助しているところです。

こうした中、水道事業は、人口減少による料金収入の減少や、施設の耐震化・老朽化への対応など、市町単独では解決が困難な課題を多く抱えており、今後、経営環境はますます厳しくなることが予測されています。

このため、柳井地域の1市4町においては、水道メーター等の必要な資材を共同購入するなど、コスト削減を図る取組を実施するとともに、さらに効果の期待できる経営統合の実現に向けて議論を進めています。

県としては、このように複数の市町が共同で事業の改善に取り組む、いわゆる広域連携を主導することにより、水道経営の基盤強化が図れるよう、市町の主体的な取組を積極的に支援しているところです。

私は、今後とも、県民が安心して暮らし続けることができるよう、持続可能な水道事業の確立に向けて、市町と連携しながら、しっかりと取り組んでまいります。



答弁する
村岡知事

第9回やまぐち高校生県議会で可決された意見書

「選挙活性化に向けた政治への興味を高めるための質問箱の設置を求める意見書」

政治や行政に興味を持つきっかけをつくるため、そして、山口県の選挙投票率を上げるために、誰でも気軽に質問できる質問箱の設置を求める意見書を高校生議員47名全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:宇部鴻城高等学校 野村 楓さん)



提案理由を説明
する野村議員



全員で起立採決

決意表明

高校生議員を代表して、「山口県民の一員として持続可能な未来社会の創出に貢献し、『安心で希望に満ちた山口県』の実現のために、積極的に尽力し続ける。」と決意表明しました。



決意表明する
天野議員

(決意表明者:高水高等学校 天野 琥珀君)

記念撮影

